

RUN+TRAIL

vol.61

山を走ると日常の景色が変わる

RUN+TRAIL

ラン・プラス・トレイル

初心者必見ハウツー
できないをできるにする

山のトレーニングメソッド
甲斐大貴
栗原正明

海外戦レポート

マウンテン&トレイルラン
世界選手権
速報

アドベンチャーランナー
北田雄夫の
1000
マイル
挑戦

西村広和が
スペイン遠征で3位獲得
Penyagolosa Trails

RUN-WALK Style
Sachiko Miura

あの日あの時、このお店の物語は始まった

鏑木毅が
若手の素顔に迫る!
万場大



Trail Running Shop Stories

全国のトレイルラン専門店ガイド PART 1

初心者向けレースを再考する!

THE FIRST TRAIL / 箕面モンキートレイルラン / 阿蘇トレイル女学院

RACE NAVI

那岐ピークス タフトレイルチャレンジ



長野県地域発元気づくり支援金活用事業

今年の大会に向けて
主催者ふたりが想いを語る!!



ビギナーも、ガチ勢も、子供や高齢者も、誰でも参加可能 日本一敷居が低い「がんばらなくていい運動会」

ゆうじん…ビールを飲みながらトレイルランを楽しむ、というありそうでなかったイベントも今年で4回目です。チーム戦であるリレーとトレイルランを掛

を聞かせてもらった。
* * *

ゆうじん…それはこのイベントが続く限り、僕らが毎回熟考しなければいけないことだと思っています。
まつきー…家族連れの参加は全体の3割ほど。もっと家族参加

ですが(苦笑)。
ゆうじん…それはこのイベント

美

ケ原トレイルランの感謝祭として2018年からスタートした「RUN & BEE R ながわ」。2022年からはまつきーさんが運営に加入して、主宰の田中ゆうじんさんを強力サポート。家族連れでも参加しやすいイベントにブラッシュアップされ、2023年からは姉妹イベント「RUN & BEE R 軽井沢」もスタートする。ふたりの自信作であるRUN & BEE Rの魅力、開催への思い入れ

を聞かせてもらった。
* * *



け合わせて5時間耐久リレーにしたのは、レースでの疲労度が少なく、その後のアフターを楽しむ余力をしっかりと残せるため。5時間耐久リレーがメインのように聞こえますが、当初からフィルム上映会やライブ、ヨガなど、アフターのコンテンツがリレーとセットであるのは、第1回から変わらないコンセプトです。
まつきー…昨年、初めてRUN & BEE R ながわに携わらせてもらったのですが、もっともつと家族で楽しんでもらいたいという思いを込めて、イベント名に「ファミリーキャンプ」を加えてもらいました。親に連れて来られて参加して、なんとなく楽しかったねで終わらないよう、子供たちや走らない家族にフォーカスしたコンテンツを設けて、家族全員で特別な思い出をつくってもらいたかったからです。でも、私たちに余裕がなく、まだ充分な対応やコンテンツ提供をできていないのが現状ですが(苦笑)。
ゆうじん…それはこのイベント



参加者
募集中
!!

長野県地域発元気づくり支援金活用事業

RUN & BEER NAGAWA ファミリーキャンプ

昨年同様、ブランシュタかやまスキーリゾートを舞台に、8月26～27日にわたって開催される。リレー中に高橋ちかさんのライブが始まり、夕方からは信州大学ケルト音楽研究会S-Celtsの生演奏、アウトドアフィルムの上映会を予定。テント泊、車中泊など、それぞれのスタイルでキャンプをして、翌朝はテラノ式手ぬぐい体操を皆で行ない、希望者は霧ヶ

峰トレイルランツアーにも参加できる。リレーとキャンプ以外はすべて無料のコンテンツとなったのも今年の変更点。イベントの詳細確認、リレーエントリー&キャンプの申し込みは右のQRコードから行なえる。



を増やすことが課題として残っています。いいなと思ったのが出店者やスタッフ、参加者という線引きが良い意味で明確ではなく、皆が一緒になって楽しめるイベントだったことです。楽しみを共有している感覚がとても強かったです。

まつきー…参加者が増えれば「あれはダメ、これもダメ」という規則が必要になり、今のようなのびのびとしたイベントではなくなってしまう。それを考えると、これくらいの小規模が一番いいのかもしれない。アンケートでいただいた要望を反映しやすいですし、手作りイベントの雰囲気を残せます。

とやりにくくなるかもしれない。まつきー…でも、そういうのを気にせず楽しそうに騒いでいる大人たちがいることは伝えたいですね。とくにお子さんたちにお父さん、お母さんたちが仲間と楽しんでいる姿を見てもいいです。こんな顔は見たいです。こんな顔が必ずあると思うんですよ。イベントってそういう発見の場でもありま

す。集客ありき、収支ありきのイベントになると、大事なものを見落としてしまうし、私たちがやりたいのはそういうイベントではないんですよ。コロナ禍だからか、何でもたたかれる風潮が強まって、周りの目を気にしながらしか生活ができなくなったと嘆いている人は少なくありません。でも、何かが生まれるきっかけって、ほんどがエラーからなんです。もう少し寛容に受け入れようぜ、というメッセージ性もこのイベントには込めています。「子供がチャレンジしない国はどんどん衰退していく」と、ある山小屋の主人が言っていました。ただそれは、みんなに「頑張れ!」「頑張ろうぜ!」とエールを送りたいわけではなく、むしろ逆。「がんばらなくていいよ!」と訴えたいんです。頑張らずに、がんばる。それを体現するイベントにしたいですね。

ましたという人もいますが、耐久という言葉のイメージに引っぱられないでほしいですね。子供さんの手をつないでゆったり走ったり、疲れたらチーム全員で休んでもいいんです。

ゆうじん…そう、RUN & BEERという名前だけど、走らず歩いてもいいですし、ビールじゃないお酒もOKですし、飲まなくてもいい。

まつきー…ガチ勢も参加しつつ、おじいちゃん、おばあちゃんがお散歩感覚でも出られるような、日本一の気軽さをいつまでも残していきたいですね。

ゆうじん…仕事やプライベートで頑張るすぎたという人はぜひご参加を! 日本で唯一、頑張らなくてもいいランイベント、RUN & BEERに羽を伸ばしに来てください!



今年から軽井沢でも開催!!

軽井沢のキャンプ場を舞台に7月8～9日に初開催。5時間耐久トレイルランリレーは、自然があふれるコースが魅力!